

三菱食品株式会社 2016年度(2017年3月期) 第2四半期決算説明会

2016年11月9日

目次

1

2016年度(2017年3月期)第2四半期(2016年4～9月)
決算概要

2

経営方針2020の実行状況

1. 2016年度(2017年3月期) 第2四半期(2016年4～9月) 決算概要

2016年度(2017年3月期)第2四半期 連結業績(期初予想比)

(単位:億円)

	2016年度第2四半期		
	期初予想	実績	期初予想比
売上高	11,890	12,059	169
営業利益	70	80	10
経常利益	75	85	10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48	62	14
1株当たり 四半期純利益(円)	84.01	109.21	25.20
1株当たり配当金(円)	25.00	25.00	—

- ◆ 売上高は、CVS等との取引を中心に好調に推移し、期初予想を上回る
- ◆ 営業利益、経常利益は、売上高増加による売上総利益の増加等により、期初予想を上回る
- ◆ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益等の計上により、期初予想を上回る

2016年度(2017年3月期)第2四半期 連結業績(前期比)

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	
	実績	実績	前期比
売上高	11,990	12,059	69
営業利益	72	80	7
経常利益	82	85	3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	67	62	▲5
1株当たり 四半期純利益(円)	118.57	109.21	▲9.36
1株当たり配当金(円)	21.00	25.00	4.00

- ◆ 売上高は、CVS等を中心に取引が総じて堅調に推移し、増収
- ◆ 利益面は、売上高増加による売上総利益の増加等により増益
- ◆ 配当は、基本方針である安定配当を継続

2016年度(2017年3月期)第2四半期 品種別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2015年度		2016年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
缶詰・調味料類	1,354	11.3	1,345	11.2	▲9	▲0.7
麺・乾物類	746	6.2	742	6.2	▲4	▲0.5
嗜好品・飲料類	1,403	11.7	1,413	11.7	9	0.7
菓子類	1,299	10.9	1,333	11.1	33	2.6
冷凍食品類	2,307	19.2	2,454	20.3	146	6.3
チルド食品類	2,156	18.0	2,127	17.6	▲29	▲1.3
ビール類	1,183	9.9	1,134	9.4	▲49	▲4.2
その他酒類	928	7.7	897	7.4	▲30	▲3.3
その他	609	5.1	612	5.1	2	0.4
合計	11,990	100.0	12,059	100.0	69	0.6

◆「菓子類」は、チョコレートの好調等により増加

◆「冷凍食品類」は、市販用冷凍食品の好調、高気温の影響によるアイスの伸長で増加

◆「チルド食品類」は、惣菜は引き続き好調も、CVSとの取引で一部帳合変更により減少

◆「ビール類」「その他酒類」は、子会社株式の売却の影響、市場環境の悪化等で減少

2016年度(2017年3月期)第2四半期 業態別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2015年度		2016年度		前期比増減.	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
卸売	1,049	8.7	983	8.2	▲65	▲6.3
GMS	927	7.7	1,011	8.4	84	9.1
SM	4,568	38.1	4,468	37.0	▲99	▲2.2
CVS	3,605	30.1	3,785	31.4	180	5.0
ドラッグストア	488	4.1	504	4.2	16	3.3
ユーザー	312	2.6	301	2.5	▲11	▲3.5
その他直販	882	7.4	842	7.0	▲40	▲4.5
メーカー・他	156	1.3	161	1.3	5	3.3
合計	11,990	100.0	12,059	100.0	69	0.6

- ◆「GMS」は、加工食品、低温食品分野での取引堅調により増加
- ◆「SM」は、採算管理強化による取引見直し、天候不順の影響等で減少
- ◆「CVS」は、取引の拡大、高気温の影響による飲料類・アイスの伸長で増加

2016年度(2017年3月期)第2四半期 セグメント別業績(前期比)

(単位:億円)

	売 上 高				営 業 利 益		
	2015年度	2016年度	増減額	増減率(%)	2015年度	2016年度	増減額
加工食品	3,721	3,722	1	0.0	14	18	3
低温食品	4,768	4,883	114	2.4	56	58	1
酒類	2,201	2,116	▲84	▲3.8	2	0	▲2
菓子	1,289	1,328	38	3.0	4	8	3
その他・調整	10	9	0	▲8.1	▲4	▲3	0
合 計	11,990	12,059	69	0.6	72	80	7

※2016年度の組織のセグメント見直し及び決算調整項目の見直しに伴い、2015年度実績を組替えております。

- ◆加工食品：CVS、ドラッグストア、通販との取引堅調等により増収増益
- ◆低温食品：CVSとの取引堅調等により増収増益
- ◆酒 類：子会社株式の売却の影響等により減収、売上高減少に伴う売上総利益の減少により減益
- ◆菓 子：CVS、ドラッグストアとの取引堅調等により増収増益

2016年度(2017年3月期)第2四半期 特別損益明細(前期比)

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	
	実績	実績	前期比
投資有価証券売却益	15	9	▲6
固定資産売却益	8	0	▲8
【 特別利益 】 計	24	9	▲14
投資有価証券評価損	1	0	▲1
減損損失	3	0	▲3
災害関連費用	0	1	1
【 特別損失 】 計	5	1	▲3
特 別 損 益	18	7	▲11

◆特別利益は、前期に計上した投資有価証券売却益および固定資産売却益の反動減により減少

◆災害関連費用は、本年4月発生 of 熊本地震の復旧費用

2016年度(2017年3月期)第2四半期 B／S(前期比)

(単位:億円)

	2015年度	2016年度 第2四半期	
	3月末	9月末	前期比
流動資産	4,797	5,053	256
固定資産	1,196	1,170	▲25
総資産	5,993	6,224	230
流動負債	4,312	4,505	192
固定負債	199	200	0
負債合計	4,512	4,705	192
純資産	1,481	1,518	37
1株当たり純資産(円)	2,591.98	2,657.41	65.43
自己資本比率	24.7%	24.4%	▲0.3P

2016年度(2017年3月期)第2四半期 設備投資等の状況

(単位:億円)

	第2四半期実績		【ご参考】 年間計画	
	投資額	償却額・ 支払リース料	投資額	償却額・ 支払リース料
設備投資(リース含む)	18	23	41	50
システム開発等	19	10	44	29
合 計	37	34	86	79

- ◆ 設備投資は、既存物流センターの庫内設備工事等が中心
- ◆ システム開発等は、次世代基幹システム「MILAI」構築に対する投資

2016年度(2017年3月期) 業績予想

(単位:億円)

	2015年度		2016年度		前期比	
	実 績	売上比 (%)	業績予想	売上比 (%)	額	率(%)
売上高	23,830	—	23,950	—	119	0.5
営業利益	168	0.7	174	0.7	5	3.0
経常利益	182	0.8	185	0.8	2	1.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	124	0.5	118	0.5	▲6	▲5.5
1株当たり当期純利益(円)	218.63	—	206.52	—	▲12.11	—
1株当たり配当金(円)	50.00	—	50.00	—	—	—

2.経営方針2020の実行状況

わが社を取り巻く環境の再認識

	環境認識		
生活者	景気回復の足踏み	生活防衛	インバウンド消費の変化
メーカー様	再び単価下落へ	国内市場の限界	
小売業様	合従連衡	エリア対応	百貨店・GMSの苦戦
全般	人手不足	働き方改革	

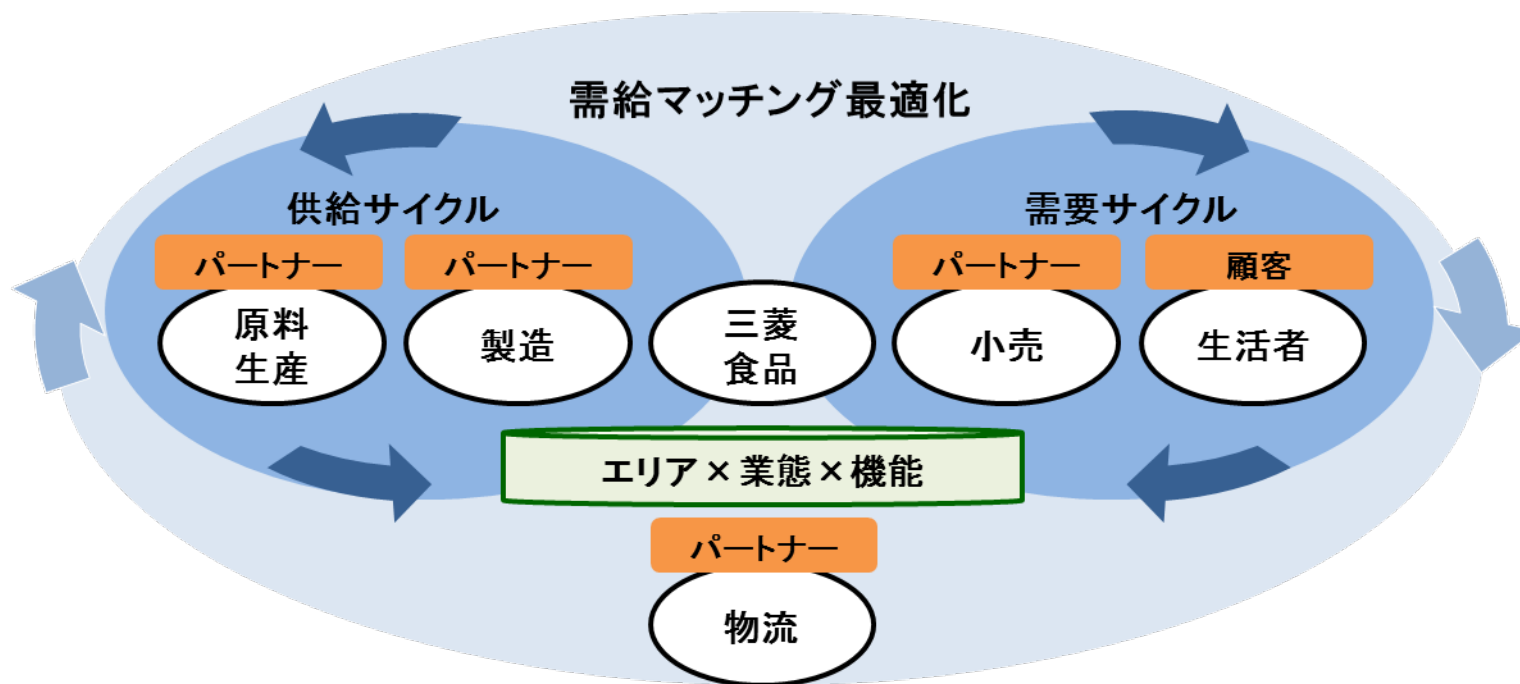
経営方針2020で目指す姿

企業ミッション

「中間」から「中核」へ。 食と暮らしの明日を創造する。

経営方針2020で
目指す姿

“より良い”を積み重ねて、日本の食を支える



3つのアプローチ

①総合食品商社
として

②三菱商事グループ
として

③「中核」を目指す
企業として

経営方針2020で目指す

総合
食品商社
として

企業ミッション

「中核」

と暮らしの明日を創造する。

経営方針2020で
目指す姿

“ま

重ねて、日本の食を支える

3つの
アプローチ

供給サイクル

需要サイクル

パートナー

顧客

原料
生産

生活者

三菱商事
グループ
として

「中核」を
目指す
企業として

3つの

総合食品商社
として

②三菱商事グループ
として

「中核」を目指す
企業として

施策の進捗状況

総合食品商社
として

エリア

◆ 海外ブランドの取扱い拡大

機能

- ◆ 次世代基幹システムMILAI本稼働
- ◆ AIを活用したマーケティング
- ◆ 物流の省人化・省力化

業態

- ◆ 国内ブランド・コラボ商品の開発
- ◆ チルド領域の酒類商品開発

イギリス



ウォーカー



PRODUCT OF SCOTLAND
Walkers
ESTABLISHED 1868

ショート・ブレッド



機能

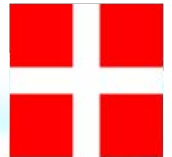
業態

【総合食品商社として】

【エリア】

海外ブランド
の取扱い拡大

スイス



リコーラ

Ricola

ハーブ・キャンディー



施策の進捗状況

総合食品商社

【総合食品商社として】

次世代基幹システム

MILAI 本稼働



及び拡大

システムMILAI本稼働
マーケティング
力化

新商品の開発
商品開発

施策の進捗状況

総合食品商社

【総合食品商社として】

次世代基幹システム

M I L A I 本稼働

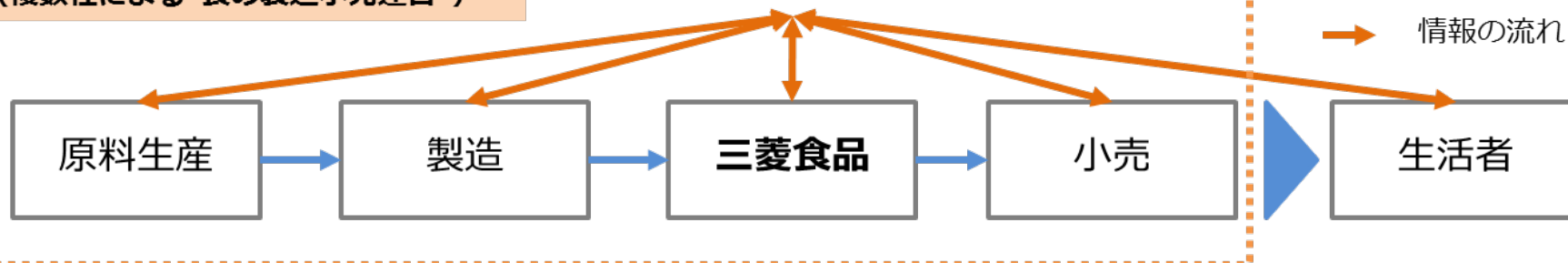


次世代基幹システム



バーチャルSPA

(複数社による“食の製造小売連合”)



生産・製造情報の連動・活用

購買・流通在庫情報の連動・活用

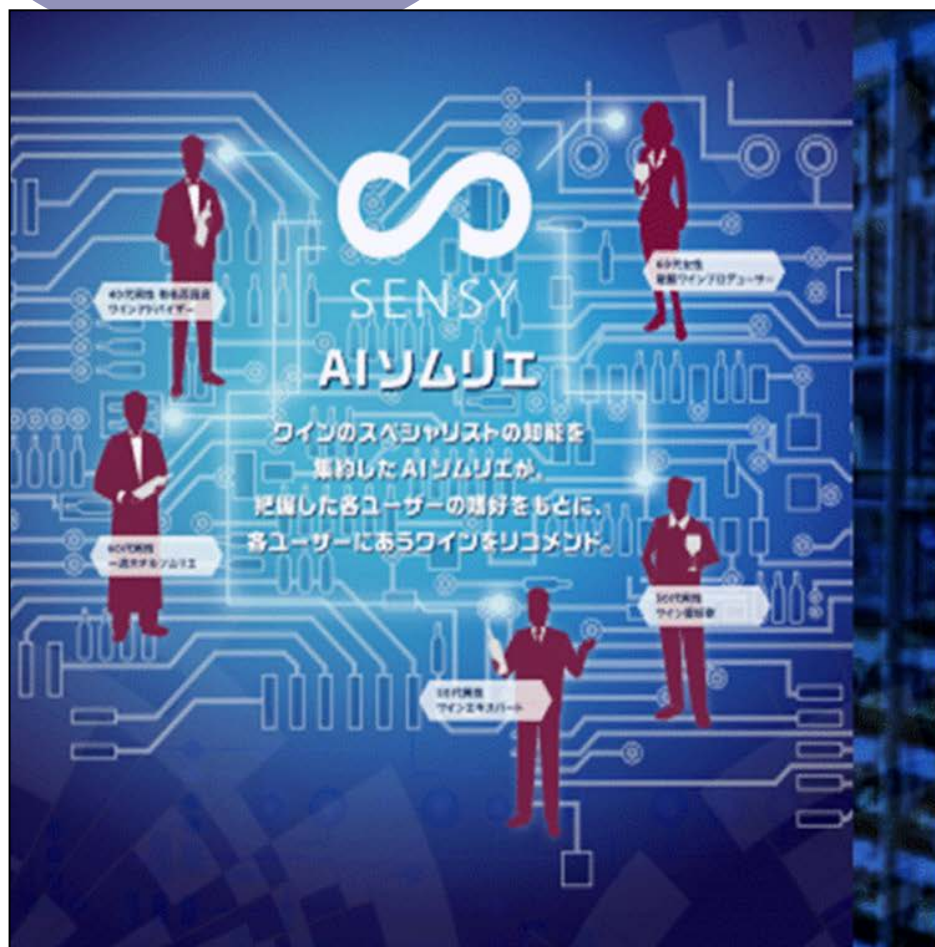
施策の進捗状況

総合食品商社
として

【総合食品商社として】

【機能】

AIを活用した
マーケティング



人工知能がセンスを学習するアプリ

SENSY.

大

AI本稼働
ング

の開発
開発

施策の進

総合食品
として



チルドビール
J-CRAFT

業 態

【総合食品商社として】

【業態】

チルド領域の
酒類商品開発

◆ 海外

次世代
AIを
活用
◆ 物流

◆ 国内
◆ チル



蔵しぼり生酒

本稼働

開発

施策の進

総合食品
として



業 態

【総合食品商社として】

【業態】

国内のブランド・
コラボ商品開発

海外

扱い拡大

次世

AIを

物流

テムMILAI本稼働

マーケティング

省力化

◆ 国内

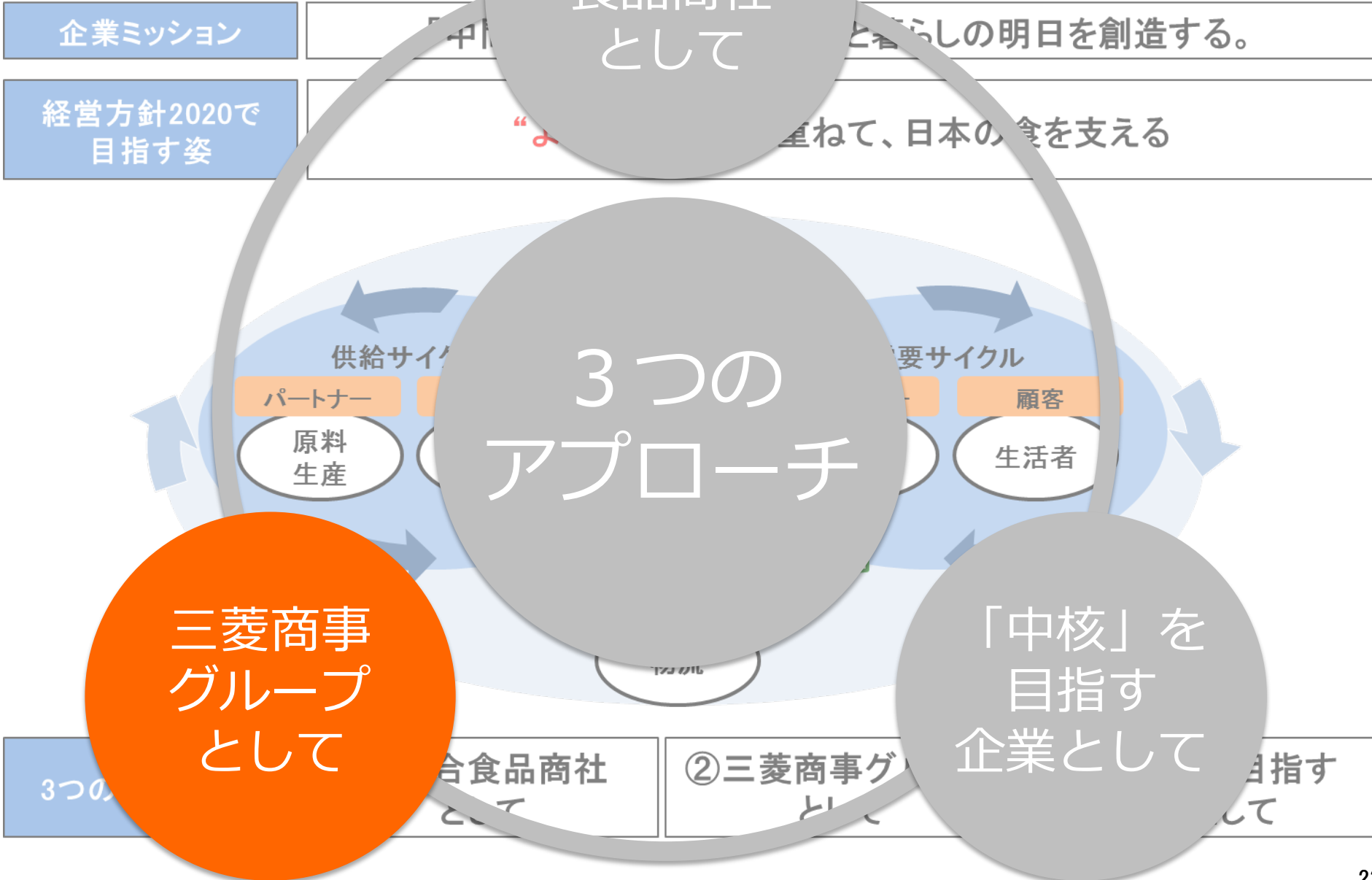
◆ チル

コラボ商品の開発

新商品開発



経営方針2020で目指す姿



経営方針2020

企業ミッション

経営方針2020で

三菱商事グループ

へ。食と暮らしの明日をとして。

積み重ねて、日本の食を支える



スチームコンベクション
対応トレー



パートナ

製造

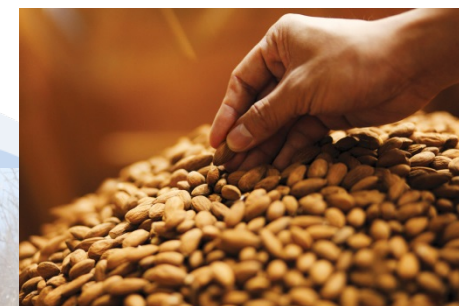
三菱
食品

エリア×業態×機能

パートナ

物流

ング最適化



Olam社 アーモンド畑



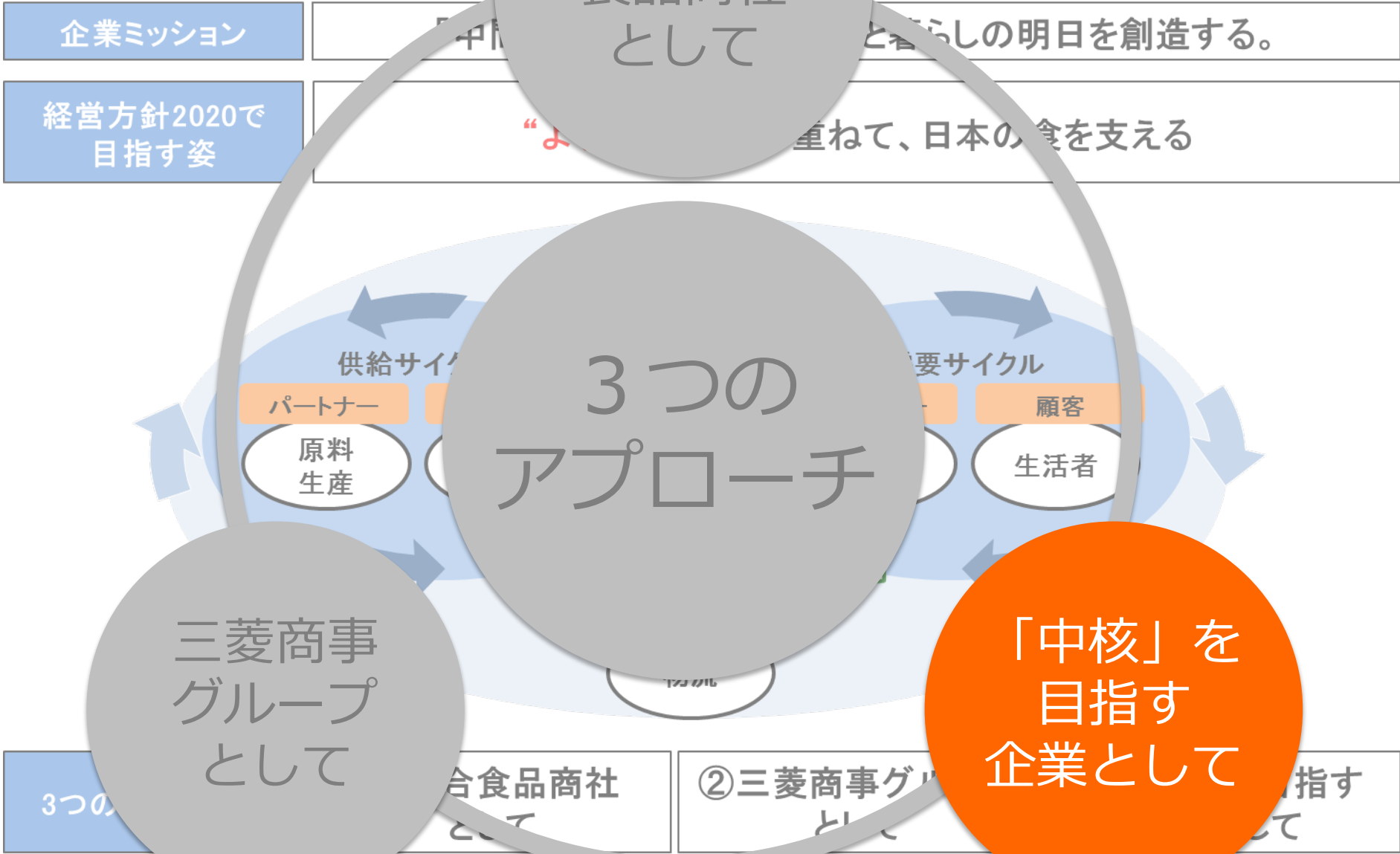
アスタキサンチンの
原料(藻)の培養施設



三菱商事グループ
として

③「中核」を目指す
企業として

経営方針2020で目指す





中核を目指す
企業として

日本の食を支える



3つのアプローチ

① 総合食
とし

経営方針2020で目指す姿

あいわーく.com

自分の働き方を、自分で考える。

はじめまして

Mitsubishi Shokuhin Women's Networkです

みんなが生き生きと働ける会社になるように、
社員の声を集約し、経営や人事政策へ提言を行うとともに
社内ネットワークを促進し、女性活躍推進を推進する事務局です。

自分の働き方を自分で考えるために、
あると便利な制度やコンテンツを発信する情報サイト
【あいわーく】をOPENしました。
男女に関係なく、是非ご活用ください。

Mitsubishi Shokuhin Women's Network：松下絵美・須田良美

「個」にフォーカスした
育成・活用

女性の活躍を支える
環境整備

MSWN

(Mitsubishi-Shokuhin Women's Network)
～女性活躍推進のためのボトムアップ活動～

ホットニュース>>

New 三菱食品プレゼンテーション2016～後日談編

社員プレゼンターとして登壇した外園さん、須田さん、
司会進行を務めた江崎さんに取材した後日談記事。
本番までの1か月の心境、プレゼンテーションから
学び・得たものについて3人に語ってもらいました。

三菱食品プレゼンテーション2016

後日談編

～本番までの1か月の心境と、プレゼンテーションから学び、得たもの～



女性活躍推進の数値目標

当社における女性活躍推進の数値目標を定めました！
「平均勤続年数13年以上」「正社員女性比率30%以上」



3つのアプローチ

①総合食品商社
として

②三菱商事グループ
として

③「中核」を目指す
企業として

中核を目指す
企業として

暮らしの明日を

に、日本の食を支える

